

第Ⅰ回上下水道事業運営審議会 質問・意見要約

【当日分】

No.	質問・意見	回答	資料の 関 連 ページ
意 見			
1	下水道使用料の改定については、反対意見はない。		
2	審議会委員は、下水道事業の経営が危険な状況だと充分理解しているが、市民は意識していない。理解が得られるよう丁寧な広報をしてほしい。	8月27日に「おうしゅうの水」を発行し、詳しく周知する予定。 【補足】 上下水道部広報誌「おうしゅうの水」の発行のほか、市民説明会の開催、ホームページ・SNSへの掲載を行います。	7
質 問			
1	農業集落排水を公共下水道に接続することにより、維持管理費は減るのか。	農業集落排水を公共下水道に接続し、施設を廃止すれば経費（※1）は少なくなる。 しかし、全国的にはもう一歩進んで、下水道管でつなぐ集合処理方式をできるだけ縮小しようという方向になってきており、老朽化して更新が必要になった場合（※2）に、個別浄化槽に切り替えていくという施策をすでに始めた事業体があるし、検討している事業体もかなり出てきている。 【補足】 ※1 経費とは処理場の建て直し費用及び維持管理費用です。 ※2 下水道管の老朽化とは、耐用年数を超えたり、硫化水素による腐食や経年劣化により傷んだりする現象です。下水道の入れ替えには多額の費用がかかります。	6

No.	質問・意見	回 答	資料の 関 連 ページ
2	農業集落排水の場合、どの程度汚水进行处理しているのか。	処理水については、処理場で処理するものは基準があり、殺菌処理まで含めて合併処理浄化槽と同じレベル、もしくはそれ以上のレベルを確保し流している。	
3	①市営浄化槽について知りたい。公共下水道との接点はあるのか。 ②市営浄化槽は団地などで何十世帯分をまとめて処理しているイメージだが、コスト的には市営浄化槽と個人設置浄化槽は一緒なのか。	①市営浄化槽のエリアは、公共下水道、農業集落排水、コミプラ以外のエリアとなる。公共下水道との接点はない。 ②個人設置浄化槽と市営浄化槽は基本的にはどちらも同じ浄化槽である。1戸に1基付いている。あくまで管理しているのが市なのか、個人なのかの違い。個人設置浄化槽の使用者が払う金額は、市営浄化槽使用料と大差はないと思っている。	2 4
4	①公共下水道エリアの縮小について、縮小するのは何か所で個別浄化槽は何基増える想定なのか教えてほしい。 ②今後10年先20年先について考えた場合、労働人口は減っていく。個別に浄化槽があった場合、そのメンテナンスをする人口も減ることになる。そういう状況になる中で現在と同じ水質で放流できるのかという心配がある。労働人口の減少も見込んで計画を立てられたのか。	①公共下水道エリアの縮小は、現段階で3地区を予定しており、377戸を見込んでいる。 ②全国的な傾向になるが、合併処理浄化槽が増えていくと、それに対応する業者も必要になる。それに対し例えば公社化しているようなところもあるし、広域連携で組合を運営する等の方法も考えられている状態にある。今後それに対応してこういった施策を施すかは課題としてあるが、そのような方法はあるなと思っている。 【補足】 ①当日回答した377戸は、縮小するエリアの戸数全体です。その中には、既に個別浄化槽を設置済みの世帯、水洗化の意向のない世帯も含んでおります。水洗化の意向調査をした結果、公共下水道エリアの縮小による個別浄化槽の増加は、70基程度になると見込んでいます。	5

No.	質問・意見	回 答	資料の 関 連 ページ
5	経営戦略に定める3つの基本方針の1つに、集合処理から個別浄化槽活用への切り替えがあるが、これについて住民に周知しているのか。	集合処理から個別浄化槽活用への切り替えの具体的な取組内容の1つ目、公共下水道整備予定エリアの縮小については、公共下水道の整備を計画したエリアのうち、費用対効果が見込めないエリアがあるため、そのエリアの方々にアンケート調査の実施により、接続の意思確認をしている。結果、回答をいただいた半数の方々は接続の意思がなかったため、そのエリアは公共下水道から個別浄化槽に切り替えていきたいという内容である。	2～3
		2つ目の農業集落排水施設を公共に接続については、処理場を建て直した場合に費用がかなりかかるため、公共下水道に接続することによって、処理場の建設費用を抑えようというもので、市の内部で費用を抑えるための取り組みになる。	6
		3つ目の浄化槽事業への支援の拡充については、公共下水道エリアを縮小した人たちが水洗化をする場合は個人設置浄化槽になるが、使用者の負担する工事費が公共下水道と比較し割高となるため、その分補助金により手当てできないか検討しているもの。決定すれば、市民周知をしていきたいと思っている。	5
		【補足】 回答後に県と協議しており、公共下水道エリアを縮小すると、市営浄化槽のエリアとなることを確認しておりますが、協議中であるため変更になることもあります。 市営浄化槽の工事費は、公共下水道と同程度の負担となります。公共下水道エリアの縮小の対象者を救済するための制度として、個人設置浄化槽の設置費用への補助の嵩上げについては、検討を進めています。詳細は資料により説明します。	5、8

【後日分】

No.	質問・意見	回 答	資料の ページ
意 見			
1	下水道料金改定の必要性が解る内容だった。市民に納得して貰うための市民周知に分かりやすい工夫をして欲しい。	資料により説明します。	7
2	①昨年改定された奥州市下水道事業経営戦略に基づく使用料改定であり妥当と考える。 ②あらゆる面で経費が上昇しているなか、よく検討された使用料改定と理解した。 ③今後とも経費の縮減を図り、一定の繰出金を確保し、適切な使用料の維持に努めていただきたいと思う。	③適切な使用料の維持に努めます。	
質 問			
1	①個別浄化槽は各戸で設置するのか、何戸かまとめて処理する形で整備するのか教えてください。 ②上記の個別浄化槽は個人負担での設置となるのか、支援する場合は何年程度を想定しているのか教えてください。	①個別浄化槽は各戸で設置します。 ②資料により説明します。	1 4～5
2	市街地、農村地などそれぞれの状況に合わせて説明をしてほしい。	資料により説明します。	8